建築　　学科

No.	書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN又は出版年	推薦者資格・氏名	選書で想定する対象者			推薦理由(200文字前後を目安)	推薦書に関連する図書の情報(3～5冊程度)					備　考
						学　年	配架(希望)先 駿河台校舎	配架(希望)先 船橋校舎			書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN又は出版年	
1	パブリック空間の本―公共性をもった空間の今までとこれから	今村 雅樹 高橋 晶子 小泉 雅生	彰国社	978-4395023110	教授　今村雅樹	1年生			私たちの社会は、国や場所、時代や制度などによって、「公共性のあり方」が違っています。この本は、「パブリック性のある建築や都市空間」を考える時に、社会と自分の関係を把握すること、そしてこれからの時代にどのような公共性のある空間が必要なのかを考える手助けとなる本です。過去の公共的空間の成立過程や、設計手法やノーテーション、思想的な背景までを解りやすく解説した専門書です。	1	公共性の構造転換	ユルゲン・ハーバーマス	未来社	1994	
						2年生以上				2	地域社会圏主義	山本理顕他	INAX出版	2012	
						全学年	○	○		3	広場の造形	カミロ・ジッテ	鹿島出版会	1983	
										4	パタン・ランゲージ	クリストファー・アレグザンダー	鹿島出版会	1977	
										5	都市と建築のパブリックスペース	ヘルマン・ヘルツベルハー	鹿島出版会	1995	
2	建築から都市を、都市から建築を考える	槇 文彦	岩波書店	978-4000610759	教授　宇於崎勝也 教授　今村雅樹	1年生			世界に誇る日本人建築家の著者は、N.Y.グラウンド・ゼロに建つ(予定の)7棟の高層ビルのうち4WTCの設計者でもある。代表作のひとつ代官山ヒルサイドテラスの見学レポートを書いた学生も多いだろう。本書は、建築家が単に建築物の設計者に留まらないことを松隈洋氏との対談の中で自身の活動を振り返り、「場」をつくることの重要性を説いており、建築家はこうありたいと思わせてくれます。	1	見えがくれする都市 江戸から東京へ(SD選書)	槇 文彦、若月幸敏、大野秀敏、高谷時彦	鹿島出版会	1980	
						2年生以上				2					
						全学年	○	○		3					
										4					
										5					
3	東京都市計画物語	越沢 明	筑摩書房(ちくま学芸文庫)	978-4480086181	教授　宇於崎勝也 教授　今村雅樹	1年生			都市の歴史を膨大な史資料から明らかにするという、著者の方法論は常に揺るがない。本書は東京に視点をあてて関東大震災(1923)以降、先の東京オリンピック(1964)までの都市計画の栄光と挫折を明らかにしている。東京の社会・経済的な発展と都市の変化を合わせて理解するに最適な1冊といえる。索引もしっかりしており、都市計画の事典代わりにも使える。	1	都市をつくった巨匠たち シティプランナーの横顔	新谷 洋二 越沢 明	ぎょうせい	2004	
						2年生以上				2	江戸東京まちづくり物語 生成・変動・歪み・展望	田村 明	時事通信	1992	
						全学年	○	○		3					
										4					
										5					

No.	書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年	推薦者資格・氏名	選書で想定する対象者			推薦理由 (200文字前後を目安)	推薦書に関連する図書の情報(3～5冊程度)					備　考
						学　年	配架(希望)先 駿河台校　舎	配架(希望)先 船　橋校　舎			書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年	
4	表徴の帝国	ロラン バルト著 宗 左近 訳	筑摩書房	978-4480083074	准教授　古澤　大輔	1年生			フランスの哲学者、ロラン・バルトの有名な著書である。ジャンルとしては建築の本ではないが、建築の世界ではよく引用されるので、是非一読してほしいと思う。日本の皇居と西欧の広場が持つ意味の考察はあまりにも有名である。西欧文化が意味と記号との間に強い結び付きを求めるのに対して、日本は意味不在の記号によって形づくられる文化だということを、食文化や娯楽文化の考察を通じて明らかにしていく過程は、とてもスリリングで今読み返してみても面白い。	1					
						2年生以上				2					
						全学年	○	○		3					
										4					
										5					
5	ペンローズの量子脳理論―21世紀を動かす心とコンピュータのサイエンス	ロジャー ペンローズ	徳間書店	978-4198607036	准教授　古澤　大輔	1年生			アインシュタインの相対性理論は、すべての物質は相対化された関係にあることを、私たちに突きつけた物理学の決定的な理論であるが、ただ一つの例外、光の存在が絶対的な基準として理論の中心に据えられている。一方、二つの世界が同時に存在し得る重ね合わせの世界、量子力学の世界では、神がつくった絶対的な存在である光さえも相対化してしまう。非計算論的に振舞う量子的な状態と、人間の意識という複雑で計算不可能な現象との関係性を、数学的アプローチから検証していくプロセスは、読んでいて興奮を覚えるだろう。	1					
						2年生以上				2					
						全学年	○	○		3					
										4					
										5					
6	地震と建築	大崎 順彦	岩波書店(岩波新書；黄版 240).	978-4004202400	教授　田嶋　和樹	1年生			大崎順彦先生によって書かれた地震工学に関する名著であり，建築を学ぶ学生にとっての必読書である。タイトルの通り，最初に地震に関する知識を深めながら，次第に建築との関係性，すなわち地震被害と耐震設計の話につなげる構成が秀逸である。最近，大学における専門教育の導入の難しさを感じているのだが，本書はまさしく地震工学分野の入門書として最適であり，見本である。そして，発刊から30年以上経つ現在においても唯一無二の存在である。	1	新・地震動のスペクトル解析入門	大崎順彦	鹿島出版会	1994	
						2年生以上				2	建築振動理論	大崎順彦	彰国社	1996	
						全学年	○	○		3	建築振動学 (建築構造講座 第 17巻)	田治見 宏	コロナ社	1965	
										4	応答性能に基づく「対震設計」入門	石丸辰治	彰国社	2004	
										5	エネルギーの釣合に基づく建築物の耐震設計	秋山宏	技報堂出版	1999	

No.	書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN又は出版年	推薦者資格・氏名	選書で想定する対象者			推薦理由(200文字前後を目安)	推薦書に関連する図書の情報(3～5冊程度)					備　考
						学　年	配架(希望)先 駿河台校　舎	配架(希望)先 船　橋校　舎			書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN又は出版年	
7	構造デザインマップ 東京	久保 純子 著 斎藤公男 監修	総合資格	978-4864171212	教授　田嶋　和樹	1年生			建築学科の学生に限らず，建物が好きな人は多いのではないでしょうか？建物を実際に見に行くことが好きだという人もいるでしょう。では，建物を見る時に，何に魅力を感じますか？美しい姿や心地よい空間に惹かれるという人が多いと思いますが，建物の魅力はそれだけではありません。その姿や空間をこの世界に実現している構造の世界に足を踏み入れてみませんか？本書は建物好きのみなさんに新たな魅力を教えてくれます。早速，本書を持って街に出てみましょう！	1	新しい建築のみかた	斎藤 公男	エクスナレッジ	2014	
						2年生以上				2	20世紀を築いた構造家たち	小澤 雄樹	オーム社	2014	
						全学年	○	○		3	構造と感性: 構造デザインの原理と手法	川口 衞	鹿島出版会	2015	
										4	建築構造のしくみ—力の流れとかたち	川口 衞，松谷 宥彦，川崎 一雄，阿部 優	彰国社	2014	
										5	空間・構造・物語—ストラクチュラル・デザインのゆくえ	斎藤 公男	彰国社	2003	
8	構造デザイン講義	内藤廣	王国社	978-4860730406	教授　田嶋　和樹	1年生			建築家である内藤廣氏が東京大学の社会基盤工学科で行った講義の内容をまとめた本である。現代の建築における主要な構造や素材について，その歴史や長所と短所を述べるだけでなく，使用するときの留意点などの地震の考えをを様々な建築物や自身の作品を題材として語っている。特筆すべきは，取り上げている題材の多さであり，この一冊を読むだけで，相当数の建築作品に触れることができるだろう。また，本書を通して，内藤氏が語るエンジニアの心構えにも触れて欲しい。	1	環境デザイン講義	内藤廣	王国社	2011	
						2年生以上				2	形態デザイン講義	内藤廣	王国社	2013	
						全学年	○	○		3	建築のちから	内藤廣	王国社	2009	
										4	場のちから	内藤廣	王国社	2016	
										5					
9	基礎教材 建築環境工学	垂水弘夫　監修 鍵 直樹・円井基史・小﨑美希・冨田隆太 著	井上書院	978-4-7530-1762-1	教授　冨田　隆太	1年生			建築物の中で人が快適に過ごすために、建築環境工学は重要な分野であり、近年、注目が高い。本書は、建築環境工学を学ぶための基礎教材であり、将来、建築士の資格取得を目指す初学者を対象に、空気環境、熱環境、光環境、音環境の各分野についてわかりやすく書かれています。特徴としては、建築士試験の出題傾向に沿ってまとめられていることや単元ごとに演習問題が用意されており、学修しやすいテキストになっていると思います。	1	建築環境工学用教材 環境編 第4版	社団法人　日本建築学会	丸善出版	2011	
						2年生以上				2	建築環境工学 第3版（初学者の建築講座）	倉渕 隆（著），長澤 泰（監修），安孫子 義彦（専門監修）	市ケ谷出版社	2016	
						全学年	○	○		3	改訂版　初めての建築環境	<建築のテキスト>編集委員会	学芸出版社	2014	
										4					
										5					

No.	書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN又は出版年	推薦者資格・氏名	選書で想定する対象者			推薦理由(200文字前後を目安)	推薦書に関連する図書の情報(3～5冊程度)					備　考
						学　年	配架(希望)先 駿河台校舎	配架(希望)先 船橋校舎			書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN又は出版年	
10	最高の環境建築をつくる方法	山梨 知彦 伊香賀 俊治	エクスナレッジ	978-4767816166	教授　冨田　隆太	1年生			エネルギー問題を中心に、建築環境工学への関心が高まっています。本書は、「環境建築」をテーマにユニークな内容で構成されています。というのも、本書は、2部構成となっており、前からは、「環境から建築を考える」、後ろからは、「建築から環境を考える」というテーマで2人の著者により執筆されています。建築環境工学の専門家と建築家が、ある意味で反対の方向からアプローチをしている本書を読むことで、環境建築の今後の目指すべき道が見えてくるかもしれません。	1	解決！「環境建築」	日経アーキテクチュア 編	日経BP社	2010	
						2年生以上				2	プロとして恥をかかないためのゼロエネルギー住宅のつくり方	西方里見	エクスナレッジ	2013	
						全学年	○	○		3	最新版　最高にわかりやすい建築設備	GREEN&BLUE UNIT'S	エクスナレッジ	2014	
										4					
										5					
11	音響キーワードブック	日本音響学会編	コロナ社	978-4-339-00880-7	教授　冨田　隆太	1年生			本書は、音響に関するキーワードの解説集である。どのキーワードも見開き2頁のヴォリュームでまとめられており、豊富な内容をつかみやすいように工夫されています。事典のような使い方だけではなく、読者の気の向くままに、音の世界の広がりを体験できることも本書の特徴の一つです。各キーワードは、200名を超える研究者がそれぞれ執筆されており、非常に魅力のある内容となっていると思います。	1	建築音響と騒音防止計画（第4版）	木村 翔	彰国社	2012	
						2年生以上				2	新版　音響用語辞典	日本音響学会編	コロナ社	2003	
						全学年	○	○		3	騒音用語事典	日本騒音制御工学会編	技報堂出版	2010	
										4					
										5					
12	オリンピック・シティ 東京1940・1964	片木 篤	河出書房新社	978-4309624129	教授　冨田　隆太	1年生			2020年にオリンピック・パラリンピック競技大会が東京で開催されます。本書は、幻に終わった第12回(1940年)、また皆さんもご存じの第18回(1964年)の2つの東京オリンピックについて、都市・建築の視点から論じられています。この本の一部を紹介すると、「選手村は、開催国での当時の集合住宅の考え方を端的に示すもの」とあり、第12回の選手村のいくつかの案や第18回の代々木選手村になるまでの経緯や選手村の概要などが論じられています。	1	幻の東京オリンピック 1940年大会 招致から返上まで	橋本 一夫	講談社	2014	
						2年生以上				2	幻の東京五輪・万博1940	夫馬 信一	原書房	2016	
						全学年	○	○		3	地図で読み解く東京五輪	竹内 正浩	ベストセラーズ	2014	
										4					
										5					

No.	書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN又は出版年	推薦者資格・氏名	選書で想定する対象者			推薦理由(200文字前後を目安)	推薦書に関連する図書の情報(3～5冊程度)					備　考
						学　年	配架(希望)先 駿河台校舎	配架(希望)先 船橋校舎			書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN又は出版年	
13	雪と建築	日本建築学会編	技報堂出版	978-4765525442	教授　中島肇	1年生			雪と建築に関わる諸問題は、雪国に限られるものではありません。例えば、首都圏でも高層ビルからの落雪により、ガラストップライトや自動車のフロントガラスを破損させた事故が発生しています。このような雪と建築に関わる諸問題の多くは、建築計画の段階で検討することにより回避できます。本書は、建築計画において考慮すべき課題を整理し基本的知識をまとめた雪と建築に関する入門書です。設計者はもちろん工事管理者など、これらを目指す学生諸君の必読書です。	1	雪国学	沼野夏生	現代図書	2006	
						2年生以上					新版　雪氷辞典	日本雪氷学会	古今書院	2014	
						全学年	○	○			積雪観測ガイドブック	日本雪氷学会	朝倉書院	2010	
14	建築学用語辞典 第2版	日本建築学会編	岩波書店	978-4000800945	短大准教授　石鍋雄一郎	1年生			その名の通り，建築学に関する専門用語の辞典です．インターネットであらゆる言葉の意味が調べられる時代ですが，情報の信頼性が疑問な場合もあります．専門性の高い言葉であればなおさらです．その点，本書は日本建築学会による出版物なので信頼性が非常に高いです．建築の勉強をしていると，本書が手元にあると非常に助かります．まずは図書館で手にとって，気に入ったら購入されることをおすすめします．	1	建築大辞典	彰国社	彰国社	1993	
						2年生以上									
						全学年	○	○							
15	サクッとわかる鉄骨造のつくり方	建築知識 編	エクスナレッジ	978-4767816364	短大准教授　石鍋雄一郎	1年生			建築学科3年生の必修科目である「鋼構造」の授業では，鋼構造（鉄骨造）の各部の構造設計に関する内容が多く取り上げられ，製作や施工についてはあまり話題が及びません． 本書で，鉄骨造のリアルな姿，製作の実際について知っておくと，授業に対する興味が高まり，理解もより深まると思います．	1	世界で一番くわしい鉄骨造	田辺雅弘 中島宏治	エクスナレッジ	2011	
						2年生以上				2					
						全学年	○	○		3					
										4					
										5					

No.	書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN又は出版年	推薦者資格・氏名	選書で想定する対象者			推薦理由(200文字前後を目安)	推薦書に関連する図書の情報(3～5冊程度)					備　考
						学　年	配架(希望)先 駿河台校舎	配架(希望)先 船橋校舎			書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN又は出版年	
16	日本建築構造基準変遷史	大橋雄二	日本建築センター	978-4889100648	短大准教授　石鍋雄一郎	1年生			我が国の建築構造に関する技術的変遷を，市街地建築物法や建築基準法などの法令に定められた基準の移り変わりを軸に紐解いた本です．建築構造を扱った本ではありますが，構造以外の分野を志望する学生の皆さんも知っていてほしい事柄(人物や歴史的出来事など)が多く登場しますので，ぜひ手にとってみてください．構造系の卒研生・院生は，自分の研究が日本の建築構造技術発展の系譜の中でどのような位置にあるのか想像しながら読んでもらうとおもしろいと思います．	1	規基準の数値は「何でなの」を探る　第1巻	寺本隆幸，大越俊男，和田章監修	建築技術	2015	
						2年生以上				2	規基準の数値は「何でなの」を探る　第2巻	寺本隆幸，大越俊男，和田章監修	建築技術	2015	
						全学年	○	○		3	規基準の数値は「何でなの」を探る　第3巻	寺本隆幸，大越俊男，和田章監修	建築技術	2015	
										4					
										5					
17	くわしすぎる構造力学演習ⅠM・Q・N図編	岡田章 宮里直也	彰国社	978-4395320110	教授　宮里直也	1年生			構造力学に苦手意識を持つ人が少なくありません。本書は、構造力学の理論的な解説をできるだけ省略し問題を解くことを通じて、構造力学の楽しさを味わいながら自然と理論が身につくことを目的に作られています。パートⅠでは、構造力学の基本となる反力から始まり、静定構造の片持梁、単純梁の断面力図を描きます。	1	くわしすぎる構造力学演習Ⅱ図解法と変形編	岡田章 宮里直也	彰国社	978-4395320271	「くわしすぎる構造力学演習Ⅰ」は、一級建築士の構造分野でも必携の基本書である。
						2年生以上				2	くわしすぎる構造力学演習Ⅲ不静定構造編	岡田章 宮里直也	彰国社	978-4395320349	
						全学年	○	○		3					
										4					
										5					
18	くわしすぎる構造力学演習Ⅱ図解法と変形編	岡田章 宮里直也	彰国社	978-4395320271	教授　宮里直也	1年生			構造力学に苦手意識を持つ人が少なくありません。本書は、構造力学の理論的な解説をできるだけ省略し問題を解くことを通じて、構造力学の楽しさを味わいながら自然と理論が身につくことを目的に作られています。パートⅡでは、静定構造の梁の曲げモーメント図を図解法で描き、トラスの軸力及び変位、梁やラーメンの変形を求める手法を学びます。	1	くわしすぎる構造力学演習ⅠM・Q・N図編	岡田章 宮里直也	彰国社	978-4395320110	「くわしすぎる構造力学演習Ⅱ」は、一級建築士の構造分野でも必携の基本書である。
						2年生以上				2	くわしすぎる構造力学演習Ⅲ不静定構造編	岡田章 宮里直也	彰国社	978-4395320349	
						全学年	○	○		3					
										4					
										5					

No.	書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN又は出版年	推薦者資格・氏名	選書で想定する対象者			推薦理由(200文字前後を目安)	推薦書に関連する図書の情報(3～5冊程度)					備　考
						学　年	配架(希望)先 駿河台校　舎	配架(希望)先 船　橋校　舎			書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN又は出版年	
19	くわしすぎる構造力学演習Ⅲ不静定構造編	岡田章 宮里直也	彰国社	978-4395320349	教授　宮里直也	1年生			構造力学に苦手意識を持つ人が少なくありません。本書は、構造力学の理論的な解説をできるだけ省略し問題を解くことを通じて、構造力学の楽しさを味わいながら自然と理論が身につくことを目的に作られています。パートⅢでは、不静定構造を解くための4つの手法を問題を解くことによって修得します。一級建築士の試験レベルを軽々と超えるスキルが身につきます。	1	くわしすぎる構造力学演習ⅠM・Q・N図編	岡田章 宮里直也	彰国社	978-4395320110	「くわしすぎる構造力学演習Ⅲ」は、一級建築士の構造分野でも必携の基本書である。
						2年生以上				2	くわしすぎる構造力学演習Ⅱ図解法と変形編	岡田章 宮里直也	彰国社	978-4395320271	
						全学年	○	○		3					
										4					
										5					
20	想像ラジオ	いとうせいこう	河出書房新社	978-4309413457	教授　田所　辰之助	1年生			編集者、小説家、作詞家、音楽家、俳優など幅広く活躍する著者が、3.11をテーマに著した幻想的な小説。津波に流され高い杉の木のうえで仰向けになって横たわりつづけている男。かれは死者たちに向けラジオ放送をはじめる。かれの言葉は死者たちのあいだに瞬く間にひろがり、大きな反響を得る。だが、残された生ある者にかれの放送は届かない。想像力をもつ、ごく一部の人たちをのぞいて…。津波に呑み込まれた死者たちの言葉と、反対に想像力を枯渇させていく、残された人たち。3.11後の日本を逆照射していくかのような、はるかなる鎮魂の書。	1	ノーライフキング	いとうせいこう	河出書房新社	2008	
						2年生以上				2	震災後文学論―あたらしい日本文学のために	木村朗子	青土社		
						全学年	○	○		3	3.11以後の建築　社会と建築家の新しい関係	五十嵐太郎・山崎亮編著	学芸出版社	2014	
										4	3.11大震災　写真に残された記憶と祈り　X-KnowledgeHOME　特別編集No.15	在本彌生撮影、吉村靖孝編	エクスナレッジ	2011	
										5	あの日からの建築	伊東豊雄	集英社	2012	
21	日本美を訪ねる関西4都市の旅	大川 三雄 重枝 豊 田所 辰之助 大山 亜紀子	エクスナレッジ	978-4767817569	教授　田所　辰之助	1年生			奈良・京都・大阪・神戸、関西圏のこの4都市をめぐって、古社寺から近代建築まで代表的な建築の見どころを紹介するガイドブック。建築史の要点を解説しながら、それぞれの建物の鑑賞の仕方をわかりやすく記している。理工学部建築学科では毎年、関西建築研修旅行を実施し、すでに50年を越える歴史をもつ。その成果が本書にまとめられた。奈良・京都の社寺を取り上げた「エリアで巡る」旅、また明治～昭和期の近代建築を中心とした「テーマで巡る」旅、通常のガイドブックでは得られない、建築の一歩踏み込んだ読み解き方を知ることができる。	1	日本の伝統木造建築　その空間と構法	光井渉	市ヶ谷出版社	2016	
						2年生以上				2	日本木造遺産　千年の建築を旅する	藤森照信、藤塚光政	世界文化社	2014	
						全学年	○	○		3	日本の建築遺産12選　語りなおし日本建築史	磯崎新	新潮社	2011	
										4	関西の近代建築－ウォートルスから村野藤吾まで	石田潤一郎	中央公論美術出版	1996	
										5	関西のモダニズム建築20選	芦屋市立美術博物館編、築地仁、鈴木理策写真	淡光社	2001	

No.	書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN又は出版年	推薦者資格・氏名	選書で想定する対象者			推薦理由(200文字前後を目安)	推薦書に関連する図書の情報(3～5冊程度)					備　考
						学　年	配架(希望)先 駿河台校舎	配架(希望)先 船橋校舎			書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN又は出版年	
22	建築家・吉田鉄郎の『日本の住宅』	吉田 鉄郎 著 近江 栄 監修 向井 覚, 大川三雄, 田所 辰之助 翻訳	鹿島出版会	978-4306052376	教授　田所　辰之助	1年生			著者の建築家・吉田鉄郎は東京中央郵便局(現KITTE)の設計者として知られ、戦後は本学でも教鞭をとった。堪能なドイツ語を活かして、日本の住宅建築についての概説書を著したが、本書はその邦訳版である。ヨーロッパの人たちに向けられた平易な語り口のなかに、伝統的な日本建築の作法とその特質が浮かび上がる。われわれもいま、和風の伝統的建築からは遠く隔てられた生活を送っている。日本の住宅とはいったい何だったのか、あらためて振り返ろうとする際に、その大いなる道しるべとなってくれる書。	1	建築家・吉田鉄郎の『日本の建築』	吉田鉄郎著、薬師寺厚訳、伊藤ていじ註解	鹿島出版会	2003	
						2年生以上				2	建築家・吉田鉄郎の『日本の庭園』	吉田鉄郎著、近江榮監修、大川三雄、田所辰之助共訳	鹿島出版会	2005	
						全学年	○	○		3	図説　日本住宅史　改訂新版	太田博太郎	彰国社	1971	
										4	対訳 日本人のすまい	平井聖著、桐敷真次郎翻訳監修	市ヶ谷出版社	1998	
										5	新版 図説・近代日本住宅史	内田青藏、大川三雄、藤谷陽悦	鹿島出版会	2008	
23	HEAT20 設計ガイドブック	HEAT20設計ガイドブック作成WG	建築技術	2015	助教　井口　雅登	1年生			省エネルギーと室内環境性能向上を目指した住まいを普及させるために定められたHEAT20基準の設計ガイドブック。高気密・高断熱化された住宅の温熱環境を理解した上で、住宅計画、開口部、断熱外皮などで留意すべき点を豊富な写真を用いて解説している。見開きで1つのテーマが取り上げられ、分かりやすい実測・計算結果によって詳細な解説がされている。特に、省エネルギーを目指した住宅を設計したい学生には、必読の書と思われる。ぜひお薦めしたい。	1					
						2年生以上				2					
						全学年	○	○		3					
										4					
										5					
24	エコハウスのウソ　増補改訂版	前真之	日経BP社	2015	助教　井口　雅登	1年生			センセーショナルな見出しであるが、見せかけだけになりがちなエコハウスを対象に、科学的根拠を基に、鋭く重要なポイントを解説している。全体的に説明が平易で理解しやすく、基礎理論から住宅設計時に考慮すべき点まで網羅されていて、入門書としても最適である。近い将来に義務化が予定されている新しい省エネ基準の解説もあり、これから住宅や温熱環境を学ぶ学生には、ぜひ読んでもらいたい1冊である。	1					
						2年生以上				2					
						全学年	○	○		3					
										4					
										5					

No.	書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年	推薦者資格・氏名	選書で想定する対象者			推薦理由 (200文字前後を目安)	推薦書に関連する図書の情報(3～5冊程度)					備　考
						学　年	配架(希望)先 駿河台校　舎	配架(希望)先 船　橋校　舎			書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年	
25	街並みの美学	芦原義信	岩波書店	2001	准教授　古澤　大輔 教授　宇於﨑勝也	1年生			本書では、建築物が集まってつくられる街の景観に対して、西欧と日本を比較、考察しながら、評価の指標が提示されている。どのような街並みが良い街並みなのか、という問いに対して自分なりの考えを示したい学生にはお勧めである。また、内部と外部、床と壁、街路の構成など、建築を都市と連続して考えるうえで必要になる具体的なヒントがたくさんある。豊富な事例、図版と分かりやすい文体でかかれた本書は、都市への眼差しをトレーニングする上で、入門書としてふさわしい一冊である。	1	続・街並みの美学	芦原義信	岩波書店		
						2年生以上				2	外部空間の設計	芦原義信	彰国社		
						全学年	○	○		3	隠れた秩序 －21世紀の都市に向かって	芦原義信	中央公論社		
										4	東京の美学 －混沌と秩序	芦原義信	岩波書店		
										5					
26	都市をたたむ	饗庭　伸	花伝社	2015	教授　宇於﨑勝也	1年生			最近よく耳にするコンパクトシティ。人口が減少していく日本では、広くまばらに住むよりはコンパクトにまとまって暮らした方が、エネルギーやサービスの面でも有利になる。この思想はわかるけど、本当に人は住む場所を集約することができるのか。筆者は自身の研究や経験をふまえて、「スポンジ」化すると表現している。これからの都市の変化を見通した著作。	1					
						2年生以上	○			2					
						全学年				3					
										4					
										5					
27	14歳からのケンチク学	五十嵐太郎 編・著	彰国社	2015	教授　宇於﨑勝也	1年生		○	「建築学」とはどのような学問なのか。建築物を建てて、維持していくための技術を身につけることが基本です。しかし、それは中学や高校で学ぶ科目とは全く違った学修なのでしょうか。本書は中学・高校で学んだことが建築学につながることを紹介し、建築の面白さをわからせてくれます。	1					
						2年生以上				2					
						全学年				3					
										4					
										5					
28	規基準の数値は「何でなの」を探る　第1巻	寺本隆幸・大越俊男・和田章	建築技術	2015	助教　宮田敦典	1年生			卒業研究では、日本建築学会の規準書や指針などを参照する機会が増えると思います。これらの規準書や指針などに定められている数値が「どのように決められたのか」を多くの執筆者によってわかりやすく紹介されています。	1	規基準の数値は「何でなの」を探る　第2巻	寺本隆幸・大越俊男・和田章	建築技術	2015	
						2年生以上	○	○		2	規基準の数値は「何でなの」を探る　第3巻	寺本隆幸・大越俊男・和田章	建築技術	2015	
						全学年				3					
										4					
										5					

No.	書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN又は出版年	推薦者資格・氏名	選書で想定する対象者			推薦理由(200文字前後を目安)	推薦書に関連する図書の情報(3～5冊程度)					備　考
						学　年	配架(希望)先 駿河台校舎	配架(希望)先 船橋校舎			書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN又は出版年	
29	プロでも意外に知らない<木の知識>	林知行	学芸出版社	2012	助教　宮田敦典	1年生	○	○	木材について次のような話を聞いたことがありませんか。 ①木の年輪は南側が大きい ②樹木の枝は南側に多い ③ミキに耳を付けると樹液の流れる音が聞こえる 実は、これらの話はすべて間違いです。木材という建築材料の中でも特に馴染み深い材料について、建築学科の学生として是非知ってほしい内容が紹介されています。	1					
						2年生以上	○	○		2					
						全学年				3					
										4					
										5					
30	レム・コールハースは何を変えたのか	五十嵐太郎＋南泰裕	鹿島出版会	2014	准教授　古澤　大輔	1年生			ル・コルビュジエが20世紀前半の最も重要な建築家のひとりだとしたら、20世紀後半はレム・コールハースが同様の役割を担っていると言っても過言ではない。脚本家を経て建築家に転身した彼は、著書である『錯乱のニューヨーク』以後、自らの理論を拡張させ、メディアを自在に横断しながら数多くの重要なプロジェクトを発表し続けている。本書は、コールハースの革命的な活動の奇跡を、1960年代～80年代に生まれた建築家や研究者たちの論考によってまとめられたものであり、コールハースを理解するうえで是非読んで頂きたい一冊である。	1					
						2年生以上				2					
						全学年	○	○		3					
										4					
										5					
31	液状化の脅威	濱田　政則	岩波書店	2012	助手　道明裕毅	1年生			東日本大震災において、津波災害・原発事故とともに大きな被害をもたらした「液状化」。その被害は建物傾斜・倒壊だけに留まらず、地中埋設物の浮上やライフラインにも影響を及ぼします。そんな液状化現象について、本書では、メカニズムや被害事例などをわかりやすく解説されています。上部構造だけでなく、基礎構造にも目を向けて、"安全"を考えてみる。そんな第一歩にお勧めの本です。	1					
						2年生以上				2					
						全学年	○	○		3					
										4					
										5					

No.	書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN又は出版年	推薦者資格・氏名	選書で想定する対象者			推薦理由(200文字前後を目安)	推薦書に関連する図書の情報(3～5冊程度)					備　考
						学　年	配架(希望)先 駿河台校舎	配架(希望)先 船橋校舎			書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN又は出版年	
32	改訂新版 建築を知る はじめての建築学	建築学教育研究会	鹿島出版会	2014	助手　道明裕毅	1年生		○	本書は、はじめて建築を学ぶ人に向けて書かれたものです。「建築学とは何か」から始まり、近代建築、都市計画、建築構造、意匠設計、環境・設備、建築施工など、建築の幅と奥行きを学ぶために、広い分野をわかりやすく解説しています。これから建築を学んでいく1年生には、特におすすめの本です。これからの学習に向けて、是非手にとって見てください。	1					
						2年生以上				2					
						全学年				3					
										4					
										5					
33	建築の構造設計　そのあるべき姿	日本建築学会	日本建築学会	2010	助手　道明裕毅	1年生			本書は、構造設計や構造設計者のあるべき姿、社会から信頼される道筋を分かりやすく解説しています。構造設計は建築に欠かすことが出来ない一方で、2005年の構造計算書偽装問題(通称、姉歯事件)を経て、構造設計者の社会的責任が益々大きくなっています。学生の皆さんが将来を考えていく上で、構造設計者とはどのようなものか、本書で是非感じてみてください。	1					
						2年生以上				2					
						全学年	○	○		3					
										4					
										5					
34	人類と建築の歴史	藤森照信	筑摩書房	2005	教授　宇於崎　勝也 教授　田所辰之助	1年生			人類が「建築」を生み出したときから、今日の建築にまで変化してきた過程を明らかにする建築史の初歩といえる内容です。(宇於崎先生より) 人類がマンモスを追い駆けていた太古の昔にさかのぼり、建築の「誕生」が語られていきます。著名な歴史家にして建築家でもある藤森照信氏が、現代までにいたる建築の流れを独自の視点で解説した名著。日本における住まいの源流、神の住まいとしての神社建築とその発祥、世界の建築様式の変遷、そして20世紀のモダニズム建築などをめぐって、わかりやすい語り口で、それぞれの特徴が明らかにされていきます。そのダイナミックな歴史観は、現代建築を見慣れたわたしたちの目を揺さぶり、建築の根源の世界へと導いてくれているようです。(田所先生より)	1					
						2年生以上				2					
						全学年	○	○		3					
										4					
										5					

No.	書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN又は出版年	推薦者資格・氏名	選書で想定する対象者			推薦理由(200文字前後を目安)	推薦書に関連する図書の情報(3～5冊程度)					備　考
						学　年	配架(希望)先				書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN又は出版年	
							駿河台校　舎	船　橋校　舎							
35	これから学会発表する若者のために ポスターと口頭のプレゼン技術　第2版	酒井聡樹	共立出版	9784320006102	短大准教授　石鍋雄一郎	1年生		○	大学では，高校までの学びとは異なり，全ての学生が同じことを画一的に学ぶのではなく学生一人ひとりがいろいろなものに興味を抱き，自分なりのアプローチでそれに向き合うことになります．そのため，自分の学びを他者にプレゼンする場面が必然的に出てきます．高校まではそのような経験少なく，どうしたらうまくプレゼンできるか悩んでいる人も多いと思います．良いプレゼンのためには「型」を身につけることが近道です．本書はその「型」の作り方をわかりやすく解説しています．書名に「学会発表」とありますが，授業内や卒研などでの発表でも使える内容ですのでぜひ手にとってください．	1	これから論文を書く若者のために	酒井聡樹	共立出版	978-4-320-00571	
						2年生以上	○			2					
						全学年				3					
										4					
										5					
36	設備設計スタンダード図集	柿沼整三 伊藤教子	オーム社	2017	助教　井口雅登	1年生			姿が表に現れない建築設備は、どのような仕組みなのか、どう建築に納まっているのか、分からないことが多いと思います。本図集では、設備設計事務所が実際に作成した図面を通して、建築設備の仕組みや実務的な配置を学ぶことができ、実社会に出る前に設備図面の読み方を知ることができます。そのためこの図集は、設備系の学生はもちろんのこと、設計・計画系の学生にも建築設備を深く理解する良いきっかけとなるでしょう。	1					
						2年生以上	○			2					
						全学年				3					
										4					
										5					
37	施工がわかるイラスト建築生産入門	日本建設業連合会	彰国社	2017	助教　宮田敦典	1年生			建築施工は、教科書をいくら読んでも、人から話を聞いても理解しにくいものです。この本は、建築生産のしくみや着工から施工、維持保全、解体まで、そのすべてがイラストで表現されており、大変わかりやすく楽しんで読むことができます。また、イラストは、13年間建設会社に勤務され施工を熟知されているイラストレータの方が描かれていますので、細部まで表現されています。	1					
						2年生以上	○			2					
						全学年				3					
										4					
										5					

No.	書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN又は出版年	推薦者資格・氏名	選書で想定する対象者			推薦理由(200文字前後を目安)	推薦書に関連する図書の情報(3～5冊程度)					備　考
						学　年	配架(希望)先 駿河台校舎	配架(希望)先 船橋校舎			書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN又は出版年	
38	土地と日本人　対談集　司馬遼太郎	司馬遼太郎	中央公論社	978-4-12-202712-1	非常勤講師　佐藤晃紀	1年生			戦後の高度経済成長期に生じた土地投機等の問題について、司馬遼太郎と各界著名人が原因の解明と解決方策を論じている。特に、徳川封建体制から明治維新以後の近・現代に至る資本主義経済下における日本人の土地に対する意識の変遷から、将来資本主義が深化することを見据えたうえでの土地のあり方まで論じている。その後のバブル経済、不良債権処理、デフレ経済等の経過を踏まえると、傾聴に値するものである。	1					
						2年生以上				2					
						全学年	○	○		3					
										4					
										5					
39	不動産の鑑定評価に関する基本的考察　第10版	櫛田光男	住宅新報社	478-9215539	非常勤講師　佐藤晃紀	1年生			わが国の不動産鑑定評価制度は、昭和30年以降の著しい土地価格の高騰により社会・経済にさまざまな問題を生じたことを踏まえて誕生したが、不動産鑑定評価基準作成の中心的役割を担った櫛田光男氏が不動産鑑定評価に関して論考した内容を著したものである。鑑定評価基準は数回にわたり改正されたが、常に理論的支柱として読み込まれてきた不朽の書である。	1					
						2年生以上				2					
						全学年	○	○		3					
										4					
										5					
40	不動産鑑定前史概論	馬場武敏	住宅新報社	478-9216098	非常勤講師　佐藤晃紀	1年生			不動産鑑定評価制度は昭和39年に法制化されたが、既に明治時代には政府の殖産興業政策により発足した日本勧業銀行において鑑定規則等が制定されており、これがわが国における鑑定評価基準の先駆けともいえるものであり、この鑑定規則等の整備・発展に関する歴史的事実を取りまとめたものである。班田収授法等のわが国の土地制度の変遷を踏まえており、類書が見られない希有な書である。	1					
						2年生以上				2					
						全学年	○	○		3					
										4					
										5					
41	文化・建築・環境デザイン	エイモス・ラポポート	彰国社	2008	助教　井本佐保里	1年生			「デザイナーの自己表現」とは異なる、利用者本位のデザインとは何かを追求した名著。地域ごとに異なる多様な文化をどのように理解し、デザインへとつなげていくことができるのか。途上国へのまなざしのあり方を教えてくれると同時に、そもそも建築・環境のデザインとは何なのかを考えさせられる。	1	住まいを読む	鈴木成文	建築資料研究社	1999	
						2年生以上	○			2	都市を飼いならす	松田素二	河出書房新社	1996	
						全学年				3	アジア・アフリカの都市コミュニティ	城所哲夫ほか	学芸出版社	2015	
										4					
										5					

No.	書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN又は出版年	推薦者資格・氏名	選書で想定する対象者			推薦理由(200文字前後を目安)	推薦書に関連する図書の情報(3～5冊程度)					備　考
						学　年	配架(希望)先 駿河台校舎	配架(希望)先 船橋校舎			書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN又は出版年	
42	シリーズ建築人類学[世界の住まいを読む]①～④	佐藤浩司	学芸出版社	1998-1999	助教　井本佐保里	1年生			「建築人類学」という分野を確立した佐藤浩司氏の編著によるシリーズ。世界各地でのフィールドワークに基づいた、住まわれ方、住宅の構法、形態について、その背後にある文化や社会のあり方とともにいきいきと教えてくれる。建築家、B.ルトフスキーの「建築家なしの建築」、原広司らによる集落研究と併せて読むとより理解が深まる。	1	集落の教え	原広司	彰国社	1998	
						2年生以上				2	建築家なしの建築	B.ルドフスキー	鹿島出版社	1984	
						全学年	○	○		3	すまい考今学	西山夘三	彰国社	1989	
										4	集落探訪	藤井明	建築資料研究社	2000	
										5					
43	町を住みこなす-超高齢社会の居場所づくり	大月敏雄	岩波新書	2017	助教　井本佐保里	1年生			「住みこなす」をキーワードに、日本のハウジングの歴史、災害後の仮設住宅の計画、家族のあり方の変化、高齢化など、現在の日本が抱える課題を読み解いていく。	1	復興の防災計画	牧紀男	鹿島出版会	2013	
						2年生以上				2	災害の住宅誌-人々の移動とすまい	牧紀男	鹿島出版会	2011	
						全学年	○	○		3	復興〈災害〉－阪神・淡路大震災と東日本大震災	塩崎賢明	岩波新書	2014	
										4					
										5					
44	建築設計資料集成 総合編 全面改訂版	日本建築学会	丸善	2001	助教　二瓶　士門	1年生			建築学科ではコンパクト資料集成を教科書として、設計の授業を行っている。建築の仕事を継続する際に、資料集成は欠かせないものとなる。平面図の集成としても面白いのだが、関連する内容のコラムが非常に面白い。なぜ住宅の階段の勾配が規定されているのか、図書館の本の管理システムがどのように発展してきたのか、建築の設計と切り離せない技術と社会の発展が記されている。	1	第3版 コンパクト建築設計資料集成	日本建築学会	丸善	2005	建築学科では教科書として指定されています
						2年生以上				2					
						全学年	○	○		3					
										4					
										5					
45	ゆるく考える	東浩紀	河出書房新社	2019	助教　二瓶　士門	1年生			学生の間に一人の哲学者や社会学者に出会うことになるだろう。私は、東浩紀を今でも読んでいる。この本は、日経の夕刊などに短編コラムを掲載していたものを集約したものであり、当時の社会の動きや当人が考えていることがタイトルどおり、結論ありきでなくゆるく綴られている。しかしながら、社会が忘れてしまってはならない警笛を哲学者の目線でそっと視点を用意してくれている。	1	ゲンロン1	東浩紀	株式会社ゲンロン	2015	東浩紀が主宰するゲンロンは、領域横断的な「知のプラットフォーム」の構築を目指している
						2年生以上				2	動物化するポストモダン オタクから見た日本社会	東浩紀	講談社現代新書	2001	
						全学年	○	○		3	クォンタム・ファミリーズ	東浩紀	河出書房新社	2013	
										4					
										5					

No.	書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN又は出版年	推薦者資格・氏名	選書で想定する対象者			推薦理由(200文字前後を目安)	推薦書に関連する図書の情報(3～5冊程度)					備　考
						学　年	配架(希望)先 駿河台校舎	配架(希望)先 船橋校舎			書　　名	著(編)者名	出版社	ISBN又は出版年	
46	民警	猪瀬直樹	小学館	2020	助教　二瓶　士門	1年生			猪瀬直樹の久しぶりの作家としての文庫本である。1964年の東京五輪を境に2つの警備会社が立ち上がる。警察にはできないこととはなにか。公ではなく民による設立背景やその後の飛躍、課題、現在にいたるまで描かれている。日本の高度成長から低成長期まで民警を通して日本を振り返ることができる。	1	ミカドの肖像	猪瀬直樹	小学館文庫	2005	ミカドの象徴や土地の神話は土地に着目した本であり、建築学科の学生でも興味をもちやすいと思う
						2年生以上				2	土地の神話	猪瀬直樹	小学館	2013	
						全学年	○	○		3	欲望のメディア	猪瀬直樹	小学館	2013	
										4	昭和16年夏の敗戦	猪瀬直樹	中公文庫	2010	
										5					
47	街道をゆく 13　壱岐・対馬の道　ワイド版	司馬遼太郎	朝日文庫	2008(新装版)2005	助教　二瓶　士門	1年生			街道をゆくシリーズは海外も含めて43ある。その中の13は壱岐・対馬編である。このシリーズはぜひ旅先で読んで頂きたい。司馬遼太郎がどのような経緯でここへ行き、当地で出会った人、食、歴史などが重なり合いながら展開する構成となっており、目の前に展開する場所の澱に触れることができる。なお、司馬遼太郎記念館の設計は安藤忠雄である。大阪に行くことがあればぜひ足を伸ばしてほしい。	1	竜馬がゆく	司馬遼太郎	文藝春秋新社	1963	いずれもテレビで原作として映像化されている
						2年生以上				2	坂の上の雲	司馬遼太郎	文藝春秋	1969	
						全学年	○	○		3	翔ぶが如く	司馬遼太郎	文藝春秋	1975	
										4					
										5					